

CIインサイトレポート － SSc －

【 目次見本 】

2024.1

§ レポートTOPICs

調査対象疾患	SSc（全身性強皮症）	
調査ポイント・ topics	患者動向	<ul style="list-style-type: none"> ➤ SScの患者動向について分析・検証 ➤ SSc患者の受診状況/受診経緯について分析・検証 ➤ <u>皮膚硬化、間質性肺疾患を中心に各病変・症状別の出現状況について分析・検証</u> ⇒ SSc患者実態を病型（dcSSc/lcSSc）別に徹底分析！
	薬物療法	<ul style="list-style-type: none"> ➤ <u>皮膚硬化、間質性肺疾患を中心に薬剤処方状況について分析・検証</u> ⇒ 皮膚硬化、間質性肺疾患に対する処方薬剤のトレンドは？ ➤ 現状での治療成績について検証 ➤ 薬剤別今後の処方動向について予測 ⇒ 薬物療法の実態・既存治療のアンメットニーズを徹底検証！ ⇒ 今後の治療薬処方動向を徹底予測！
	新規薬剤	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 注目薬剤ブロダルマブのポテンシャル・処方動向について検証・予測 ➤ 開発（後期）薬のポテンシャルについて検証 ⇒ 新規薬剤のポテンシャルを徹底検証！
	臨床開発の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 過去の開発の失敗要因について分析・検証 ➤ 開発成功に向けた重視ポイントについて検証 ⇒ 今後の臨床開発の方向性を徹底予測！ (承認取得のトリガーは？プライマリーエンドポイントの設定は？)

■ 主要調査対象

※ 下線・太字は調査重点対象

病変・症状		<ul style="list-style-type: none"> ・<u>皮膚硬化、間質性肺疾患</u>、レイノー症状、皮膚潰瘍 ・レイノー症状、皮膚潰瘍 ・肺動脈性肺高血圧症、間質性肺疾患に伴う肺高血圧症 ・上部消化管症状、下部消化管症状 	
治療薬	既存薬	ステロイド	ステロイド経口/注射
		免疫抑制剤	エンドキサン、シクロスポリン、タクロリムス、 <u>セルセプト</u>
		生物学的製剤	<u>リツキシマブ、アクテムラ</u>
		チロシンキナーゼ阻害剤/抗線維化剤	オフエブ
		その他	エンドセリン受容体拮抗薬、PDE5阻害薬、プロスタサイクリン製剤、免疫グロブリン製剤
	新規薬剤 (開発薬) ＜適応拡大＞	抗IL-17受容体A抗体	<u>ブロダルマブ (ルミセフ)</u>
		抗CD19モノクローナル抗体	イネビリズマブ (ユプリズナ)
		抗 I 型インターフェロン受容体抗体	アニフロルマブ (サフネロー)
		抗ヒトIL-23p19モノクローナル抗体	グセルクマブ (トレムフィア)
		完全ヒト型抗BLySモノクローナル抗体	ベリムマブ (ベンリスタ)
		抗ヒトIL-31受容体Aモノクローナル抗体	ネモリズマブ (ミチーガ)

§ レポートPart別概要

調査種類	Part I データ分析編	Part II 定量調査編	Part III KOLヒアリング編
調査手法	(オープンソースを基にした) データ分析	インターネットによるWEB調査	デプスインタビュー
調査対象医師/ 対象医師数	—	SSc臨床医 計 200名	SSc TOP KOL 3名 【関連学会 役員/理事】
調査対象診療科 ＜施設種類＞	—	リウマチ・膠原病内科、皮膚科、一般内科 ＜HP/GP＞	皮膚科/膠原病内科 ＜HP＞
調査内容	＜既存薬＞ 治療薬一覧、臨床試験、関連論文 ＜開発薬（国内/海外）＞ プロファイル、作用機序・特性、 臨床試験、関連文献 ＜その他＞ 注目企業動向、関連学会情報 ＜別添＞ 抄録集（関連論文）	＜診療・患者動向＞ ● 病型別患者動向（dcSSc/lcSSc） ● 受診状況/受診経緯 ● 発症期間別患者状況（dcSSc） ＜病変・症状別出現状況＞ ● 病変・症状別出現状況 ● 治療上で重視する病変・症状 （皮膚硬化以外） ＜皮膚硬化/間質性肺疾患 薬物療法実施状況＞ ● 薬剤別処方状況 ● 薬剤別治療満足度 ● 治療効果が低い患者割合 ● 薬剤別今後の処方動向 ＜新規薬剤 プロダルマブ処方動向予測＞ ● 薬剤別認知状況 ● 処方意向・期待度 ● 処方ターゲット ＜既存治療のアンメットニーズ＞	＜診療・患者動向＞ ● 診療状況/受診経緯 ● 国内診療/患者動向＊ ＜病変・症状別出現状況＞ ● 主要病変・症状出現状況 ● 治療上で重視する病変・症状 ＜薬物療法実施状況＞ ● 皮膚硬化・間質性肺疾患 薬物療法実施状況/治療薬処方状況＊ ● 国内治療薬処方状況＊ ● 治療薬処方動向予測＊ ● 既存治療のアンメットニーズ＊ ＜新規薬剤評価・処方動向予測＞ ● プロダルマブ薬剤評価/処方動向予測＊ ● （プロダルマブ以外）薬剤別ポテンシャル分析 ＜臨床開発の方向性＞ ● 今後の臨床開発の方向性＊
		等	等
調査実施時期	2023年 11月 ～ 12月		
体裁／頁数	Part I・・・P P T（or E X C E L）、Part II & III・・・P P T / A 4 計約300ページ（報告書本編のみ、別添は含まない）		
レポート価格	レポート本編 ※オプション	フルセット＜3パート＞ ロウデータ ロウデータ + ターゲットマッチング	1 9 0 万円（税別） 5 0 万円（税別） 6 0 万円（税別）
			＊Part別販売 可

< Part I データ分析編 目 次 >

調査概要	3	IV. 学会情報	38
I. 既存品	4	IV-1. 日本リウマチ学会	39
I -1. プロファイル	5	IV-2. 日本臨床リウマチ学会	41
I -2. 作用機序・特性	9	IV-3. 日本小児リウマチ学会	43
I -3. 薬価	13	IV-4. 日本臨床免疫学会	44
I -4. 臨床試験 (UMIN)	16	IV-5. 日本皮膚科学会	45
I -5. 臨床試験 (jRCT)	18	IV-6. 日本炎症・再生医学会	46
I -6. 臨床試験 (UMIN&jRCT)	19	V. 関連文献	47
II. 開発品	20	V-1-1. 既存品・製品別	48
II -1. プロファイル	21	V-1-2. 既存品・複数	54
II -2. 作用機序・特性	24	V-2. 開発品	55
II -3. 臨床試験 (jRCT)	28	V-3. 既存品+開発品	57
III. 関連企業動向	30		

< Part II 定量調査 要約編 目次 >

調査概要	3
回答者プロフィール	4
§.Executive Summary	5
§.Summary	12
1) 診療状況	13
2) 薬物療法実施状況(SSc全体)	19
3) 皮膚硬化薬物療法実施動向	25
4) 間質性肺疾患薬物療法実施動向	48
5) プロダルマブ認知状況・処方動向	71
6) 開発薬処方意向	76
7) 既存治療のアンメットニーズ	78

< Part II 定量調査 結果編 目次 >

調査概要	3		
回答者プロフィール	4		
§ 調査結果	5		
1) 診療状況	6	4) 間質性肺疾患薬物療法実施動向	55
1-1.診療患者数・新規患者数(直近6ヶ月間)	7	4-1.肺機能状態別患者状況(びまん皮膚硬化型)	56
1-2.病型別患者割合	8	4-2.薬物療法実施状況	57
1-3.受診状況(受診経緯)	9	4-3.治療薬処方状況	60
1-4.発症期間別患者状況(びまん皮膚硬化型)	10	4-4.薬剤別処方状況(直近6ヶ月間)	62
1-5.症状別出現状況	11	4-5.薬剤別治療満足度	78
2) 薬物療法実施状況(SSc全体)	19	4-6.薬剤別今後の処方動向	83
2-1.薬剤選択時の重視ポイント	20	4-7.治療効果が低い/治療効果が不十分な患者割合	88
2-2.重視する病変・症状(皮膚硬化以外)	21	5) プロダルマブ認知状況・処方動向	89
2-3.治療薬処方状況	24	5-1.薬剤認知状況	90
3) 皮膚硬化薬物療法実施動向	26	5-2.承認取得後処方意向	91
3-1.皮膚硬化状態別患者状況(びまん皮膚硬化型)	27	5-3. 処方ターゲット	92
3-2.薬物療法実施状況	28	6) 開発薬処方意向	97
3-3.治療薬処方状況	31	7) 既存治療のアンメットニーズ	101
3-4.薬剤別処方状況(直近6ヶ月間)	33		
3-5.薬剤別治療満足度	46		
3-6.薬剤別今後の処方動向	50		
3-7.治療効果が低い/治療効果が不十分な患者割合	54		

< Part Ⅲ KOLヒアリング編 目次 >

調査概要	3
Summary	6
1. 患者動向	18
2. 病変・症状出現状況	21
3. 薬物療法実施状況	25
4. 既存治療のアンメットニーズ	32
5. 新規薬剤（開発薬）の評価・印象	34
6. 治療薬処方動向予測	38
7. 臨床開発の方向性	41